

正 誤 表

「コンパス医薬品情報学（第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
17	↓10行	医薬食品局	医薬・生活衛生局
23	図2・2	非臨床概括資料	非臨床概括評価
23	図2・2	品質概括資料	品質概括評価
32	↑9～8行	定期的安全性最新報告（periodic safety update report, PSUR）	定期的ベネフィット・リスク評価報告（periodic benefit-risk evaluation report, PBRER）
37	↑10行	厚生労働省医薬食品局安全対策課宛に	PMDA 宛に
115	↑6行	キーワードを検索	キーワードで検索
130	↑8～7行	院内採用医薬品集（formulary）に掲載される	院内採用医薬品集に掲載される
130	↑7～6行	院内採用薬は管理される（formulary management）.	院内採用薬は管理される.
154	課題5-14	2014年現在	2017年現在
179	表7・1	エコロジー研究	エコロジカル研究

188	表 7・2	<p>下表に差し替え</p> <p style="text-align: center;">表 7・2 量的データをもつ 2 群間の検定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 40%;">パラメトリック検定</th> <th style="width: 40%;">ノンパラメトリック検定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データの特徴</td> <td>データが正規分布 等分散 (F 検定)</td> <td>データが正規分布しない 不等分散 データが順序尺度</td> </tr> <tr> <td>群間に対応あり</td> <td>対応のある t 検定</td> <td>ウィルコクソンの符号付き順位検定</td> </tr> <tr> <td>群間に対応なし</td> <td>対応のない t 検定 不等分散→ウェルチの方法</td> <td>ウィルコクソンの順位和検定 マン・ホイットニーの U 検定</td> </tr> </tbody> </table>			パラメトリック検定	ノンパラメトリック検定	データの特徴	データが正規分布 等分散 (F 検定)	データが正規分布しない 不等分散 データが順序尺度	群間に対応あり	対応のある t 検定	ウィルコクソンの符号付き順位検定	群間に対応なし	対応のない t 検定 不等分散→ウェルチの方法	ウィルコクソンの順位和検定 マン・ホイットニーの U 検定
	パラメトリック検定	ノンパラメトリック検定													
データの特徴	データが正規分布 等分散 (F 検定)	データが正規分布しない 不等分散 データが順序尺度													
群間に対応あり	対応のある t 検定	ウィルコクソンの符号付き順位検定													
群間に対応なし	対応のない t 検定 不等分散→ウェルチの方法	ウィルコクソンの順位和検定 マン・ホイットニーの U 検定													
197	図 7・8	<p>下図に差し替え</p> <div style="text-align: center;"> <p>← 過去 時間経過 現在 →</p> <p>喫煙群 2000人</p> <p>非喫煙群 2000人</p> <p>調査の方向 前向き (prospective)</p> <p>a 慢性閉塞性肺疾患あり 292人 b 慢性閉塞性肺疾患なし 1708人 c 慢性閉塞性肺疾患あり 45人 d 慢性閉塞性肺疾患なし 1955人</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>発症あり</th> <th>発症なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喫煙群</td> <td>292 (a)</td> <td>1708 (b)</td> </tr> <tr> <td>非喫煙群</td> <td>45 (c)</td> <td>1955 (d)</td> </tr> </tbody> </table> <p>相対リスク = $\frac{\frac{a}{a+b}}{\frac{c}{c+d}} = \frac{\frac{292}{2000}}{\frac{45}{2000}} = 6.49$</p> </div> <p style="text-align: center;">図 7・8 コホート研究の解析例</p>			発症あり	発症なし	喫煙群	292 (a)	1708 (b)	非喫煙群	45 (c)	1955 (d)			
	発症あり	発症なし													
喫煙群	292 (a)	1708 (b)													
非喫煙群	45 (c)	1955 (d)													
217	↑ 9 行	意味するのではなく	意味するだけではなく												
217	↑ 5 行 式 (7・15)	相対リスク = $\frac{\text{対照群のリスク}}{\text{治療群のリスク}}$	相対リスク = $\frac{\text{治療群のリスク}}{\text{対照群のリスク}}$												

218	↓7行 式 (7・16)	$\text{相対リスク減少} = \frac{\text{対照群のリスク}}{\text{対照群のリスク} - \text{治療群のリスク}}$	$\text{相対リスク減少} = \frac{\text{対照群のリスク} - \text{治療群のリスク}}{\text{対照群のリスク}}$
-----	--------------	---	---

2018年2月26日

株式会社南江堂